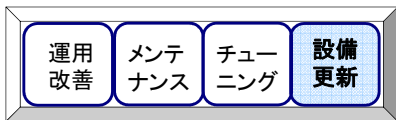


蛍光灯のHf化



○ 店舗内や作業室内等の蛍光灯を従来形から高効率形(Hf形)に更新することで節電となります。

試算例

蛍光灯を従来形から高効率形(Hf形)に更新すると...
(延床面積10,000m²相当の工場の事例)

■ 節電効果: **節電効果 51万円/年** 【高圧電力S単価を適用】
節電電力 約 12kW
節電電力量 約 33,500kWh

■ 対策内容: 蛍光灯のHf化

■ 計算式: 節電電力(kW) = 消費電力(更新前) - 消費電力(更新後)
 節電電力量(kWh) = 節電電力 × 対象時間 × 対象日数

(試算条件)

消費電力(更新前【従来形】): 61kW(40W × 90台 + 40W × 2灯式 × 718台)
 消費電力(更新後【高効率形(Hf形)】): 49kW(32W × 90台 + 32W × 2灯式 × 718台)
 対象時間: 11時間/日(9:00~20:00)
 対象日数: 250日/年

ポイント

- 一般的に蛍光灯を従来形から高効率形に更新すると、消費電力が低減し、若干明るくなります。(明るさを抑えたタイプもありますので詳細はメーカー等にご確認下さい)
- 直管形LED照明に更新する場合は、口金の変更や配線工事の見直しが必要になる場合もあります。
- リニューアルの手法は安定器のみを交換する場合などもありますので、工事店等にご確認下さい。

参考

【Hf蛍光灯への更新】



ランプ型式: スタータ式: 「FL」
(従来形) ラピッドスタート式: 「FLR」

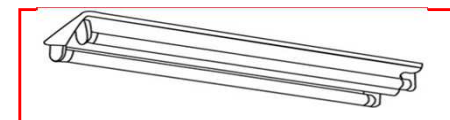
蛍光灯型式の確認方法

【現在】

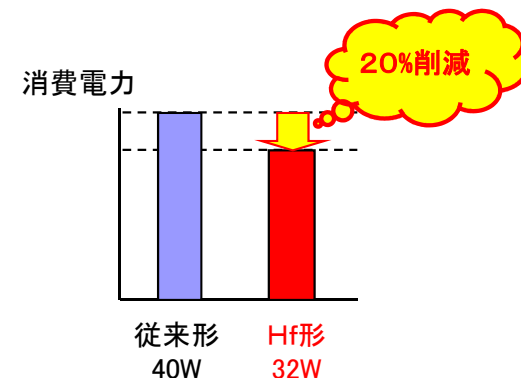


従来形40W × 2灯式

【更新後】



高効率形(Hf形)32W × 2灯式

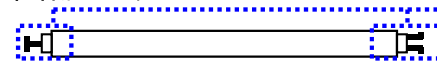


Hf化による消費電力削減効果例

【LED器具への更新】

※20W, 40W・1灯式もしくは20W, 40W・2灯式の場合、LEDへの更新も可能となります

直管形LEDランプ



【口金】



蛍光灯の省エネリニューアル事例

(注) 本内容はお客さまの運用状況等によって異なる場合がございます